

学校だより

やさしい子 たくましい子 考える子

10月号



黒門

発行日 令和4年10月1日
発行者 台東区立黒門小学校
校長 石田 隆

「電子」のよさ、「紙」のよさ それぞれを生かして

副校長 岩崎 公慈

朝晩はずずしい日が増えてきましたが、校庭では照り返しの厳しさを感じる日もあります。運動会の取組が本格的に進む中、熱中症予防、コロナ予防をしながら体調管理を万全にして教育活動を進めてまいります。

さて、これまで学校からのお知らせは印刷した紙を配布して家庭に届けてきました。同時に学校だよりや月予定、学年だより、今年度からは給食だよりと献立表をホームページに掲載することにしており、便利に使っているという声もいただいております。中には学級だよりや行事等のお知らせ、すべての電子化を望む声もあります。

ホームページへの掲載や SumaMachi での配信などによる電子化は、

- ①複数の相手に対して一斉・確実に届けることができる。(欠席児童の保護者にもその日に届く)
- ②関連記事へのアクセスや知人への転送がしやすく、紛失の恐れが少ない。
- ③フルカラーで鮮明な紙面が届けられ、端末があればいつでも、どこでも見ることができる。
- ④印刷、仕分け、配布、持ち帰りなど一連の作業が減り、届かないというミスが減る。
- ⑤ペーパーレス化で環境保護に貢献できる。

といったメリットが考えられます。

過日の筑西市からの梨の贈呈に伴って家庭から寄せられたアンケートは多数の回答があり、家庭の通信環境調査や図書ボランティアの参加者募集も SumaMachi を使用して短期間で集約、活用することができるようになりました。今後も電子化のよさを最大限生かしていきたいと思っております。

印刷物を配布する場合、教員は教室で児童に配布する際に内容の説明をして、おうちでしっかり渡すように指導してします。各家庭でも「家に帰ったら連絡帳とおたよりはすくに出す」としつけていることと思います。保健だよりは○×クイズやチェックリストを使って教室での指導を行いました。家庭でも親子で楽しく話題にすることができたと聞いております。紙で配るよさの中に、その場での指導がしやすく、書き込みなどが容易なことがあります。

関連機関からもたくさんの配布物が来ます。催し物などは「学校で参加を呼びかけてほしい」といわれることが多くあります。たくさんの配布物を取り扱う学校ですから、電子のよさ、紙のよさ、それぞれを生かして、児童に、そして、皆様に届けていきたいと思っております。

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。9月の育ての会役員会・運営委員会で報告し、ホームページにも掲載しました。いただいたご意見を踏まえ教育活動のさらなる充実に向けて取り組んでまいります。回答の詳細は本校ホームページ(右の QR コード)に掲載しておりますのでご覧ください。



欠席・遅刻の連絡は「SumaMachi(スマまち)」で朝8時までにお問い合わせいたします。